

4 年	特に育成したい能力や態度 (<u>具体的な数字や言葉で記載する</u>) 2～3にしぼる。	授業改善の視点と具体的な方策 (具体的に達成すべき数値目標を記載する) 左側のものとリンク【対応させる】	達成率【割合】 A・・・90%以上の児童 B・・・90～80%の児童 C・・・80～70%の児童 D・・・70%以下の児童
国語	・中学年では、筋道をたてて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養ったり、自分の思いや考えをまとめることができるようにしていく。そのために、児童に自らの力で、文章を読み取ったり、筆者の考えを読み取ったりする力を育てていく。 ・説明的文章では、筆者の考えが文頭や文末にあることを知るとともに、その根拠となる部分が文章内でどこにあるかを自らの力で見つけられるようにしていく。	・説明的文章では児童が主体的に考えられるようにするために、図やグラフを提示し一目でわかるように授業の工夫を行う。また、導入を通して、児童に興味・関心を持つような配慮を行う。 ・筆者の意見や主張が文章内でどこに書いてあるか確認し、線を引いたり、友達と協力して意見や考えを共有したりするという深い学びにつながる授業を積極的に取り入れていく。	(成果) 児童が視覚的に捉えやすくするため、教材を工夫したことで、読み取る力が向上した。(B) (課題) 自分の思いや考えをまとめることに慣れていないため、見本を提示しながら取り組ませた。継続的に指導が必要。(C)
社会	・社会的事象について物事を主体的に学習の問題を解決する態度を育てていく。 ・社会科見学や、資料の活用を通して、児童に視覚的に興味・関心を引くような教材を用意する。	・見たり、聞いたりして学習していく習慣をつけ産業の仕組みや、東京都の魅力、大都市と自然あふれる場所の違いなど、ICT 教材を活用して進めていく。 ・授業の導入段階で単元の見通しや、学習内容を明確化しながら、児童ができた喜びやわかる喜びを味わえる授業を展開していく。	(成果) パワーポイントで作成した資料や動画を活用したことで、資料から情報を読み取る力が向上してきた。(B) (課題) 資料から読み取ったことや考えたことを、自分の言葉でまとめることが苦手。(C)
理科	・学習内容に興味や関心をもち、意欲的に取り組むことができるようする。 ・実験の際は、既習の内容や生活経験を基にしながら予想を立て、予想の根拠を説明できるようにする。 ・実験結果から分かったことを、考察として自分の言葉でまとめたり、説明したりすることができるように育てる。	・単元の導入で、児童の生活経験を基にした教材（教具や話題）を準備し、日常生活と関係があることを感じとらせながら学習内容に入る。 ・予想を立てる際に、児童が予想すると考えられる言葉を用意し、児童に順に聞いていく。やり方に慣れてきたら、予想する考えを一人一人に書かせるようにし、発表させていく。達成率80%を目指す。 ・実験でまとめた表やグラフから実験結果を客観的に捉えさせる。また、生活経験を振り返られながら、自分の言葉でまとめさせる。最初の頃は、教師の板書する文章を真似させ、書き方に慣れさせる。慣れてきたら、一人一人自分の言葉で書かせていく。達成率80%を目指す。	(成果) 実験結果に様々な違いが出ることを体験して学ぶことができた。(B) (課題) 実験結果の考察が十分にできなかった。(C)

道徳	・単に教材文を読むだけではなく、興味や関心をもって自分だったらどのように行動するかを考えられるように育てる。 ・日常生活の中で、学習したことを思い出し、より良く行動していこうとする態度をとることができるようにする。 ・教材を通して考えたことや思ったことを自分の言葉でワークシートに書けるようにする。	・教材に関する教材（写真、教材文につながる話等）を準備し、日頃の児童自身の行動と比べさせながら振り返らせる。 ・学習したことを学校生活の中で、折に触れて声かけしていく。児童が考えようとしたり、気がついたり、行動していこうとする場面で、児童の態度や取り組み方を褒めていく。また、他の児童へも頑張ったことを教師から伝えていく。 ・児童が感じたこと、考えたこと、思ったことを発表させ、黒板に板書していく。書くことが思いつかない児童には、板書や友達の意見を参考にワークシートに書かせる。	（成果） 自分事にして考えることで、様々な視点から意見交流ができた。（B） （課題） 聞けば自分の考えを表出できるが、書くとなると抵抗がある児童がいるので、さらに改善が必要。（C）
-----------	---	---	--